

スポーツ産業の未来

琉球アスティーダ ～スポーツを通じた地域課題の解決～

スポーツ・ヘルスケア産業を取り巻く課題や、それに挑戦する企業を紹介する「スポーツ産業の未来」。
第4回目となる今回は、創設3年目にして卓球Tリーグを制覇し、プロスポーツチームとして初の株式上場を果たした、琉球アスティーダスポーツクラブ株式会社 代表取締役の早川周作氏にお話を伺いました。



Tリーグ初優勝

琉球アスティーダの紹介

Tリーグとは、2018年に発足した国内の卓球リーグで、4シーズン目を迎えます。

「琉球アスティーダ」は、Tリーグ発足初年度の2018年からリーグに参加した男子チームです。世界ランキング上位の選手を擁し、好成績

績が期待されましたが、予想に反し初年度は最下位の成績でリーグ戦を終えることとなります。その後、選手の意識改革やチーム作りを徹底し、ついに参入3シーズン目で初優勝を果たしました。

4シーズン目となる今季は、連覇を狙うとともに、新たに女子チーム「九州アスティーダ」を発足させました。九州アスティーダも、琉球アスティーダと同じく2年〜3年でのリーグ優勝を目指しています。

**夢と希望を与えるスポーツに適正なお金の循環構造を！
日本初！スポーツチームの株式上場！**

早川氏は、大学在学中に起業することで、早くから会社経営を経験し、卒業後は政治家としての道を志すなど、卓球とは縁のない人生でした。そんな早川氏が初代チエアマン・松下氏に打診され、「琉球アスティーダ」の代表に就任した際、「夢と希望を与えるはず

のスポーツの運営に、なぜこんなにもお金の循環構造がないのだろうか」という疑問を抱き、日本のスポーツチームが抱える課題を①ガバナンス（健全な企業経営を行うための管理体制の構築や企業内部の統治）が効いていない、②ディスクロージャー（情報開示）がされていない、③スポーツチームにプライシング（価格設定）がされていない、という3点だと考えました。

当初抱えていた課題のうち「③プライシング」については、チームの市場価値を明瞭にするための取組として、株式上場を目指すこととなります。そして2021年3月30日、スポーツチームとしては、日本初の株式上場を果たすこととなりました。



卓球スクールの様子

株式上場までの道のりはクリアすべき課題も多く、簡単なことではありませんでした。ただ、特別なことをしたわけでもなく、一般の企業経営をスポーツビジネスでも取り組むこと、経営において、当たり前前の取組を根気強く続けることが、結果的に日本初の株式上場につながりました。

一般にプロスポーツチームというと、企業からのスポンサー料で



「スポーツ×健康×飲食」沖縄初のスポーツバル

経営基盤が成り立っていることがほとんどです。一方、同社は、卓球プロチームの運営のほか、トライアスロンチームの運営、スポーツと健康をコンセプトとした飲食店、卓球教室、卓球関連商品の物販等、地域の総合型地域スポーツクラブとして、「沖縄×スポーツ×α」をテーマに企業のマーケティングにも取り組んでおり、お金が循環する仕組みを作り上げています。この循環から生み出された利益を選手の育成、施設の整備のようなスポーツそのものに充てています。これこそが夢と希望を与えるスポーツのあるべき姿であり、これらの取組を運営する収益構造は、今後のスポーツチーム運営のモデルケースとなることが期待されています。

「スポーツ×○○」 これからの時代のスポーツ チームのあり方！

早川氏は「これからの時代は社会課題解決型のビジネスでないと生き残れない」と語ります。その言葉を体現するかのように同社は、Tリーグへの参加だけでなく、スポーツバルや卓球スクールの運営など、様々な活動に取り組んでいます。

ます。

このような取組のひとつとして『スポーツドネーションOKINAWA』をご紹介します。この取組は、アメリカのスポーツアパレル会社「UNDER ARMOUR」の日本総代理店である株式会社ドームと提携し、販売シーズンが終了した商品を沖縄県内の児童養護施設に寄付するというものです。衣料廃棄口の削減とスポーツ振興を通して、沖縄県内の子どもの貧困対策につながるこれが目的です。



試合中写真

沖縄県の子どもの貧困率は全国と比較すると、高くなっていることが社会課題となっています。一方、UNDER ARMOUR社は販売が終了した商品の廃棄ロスというビジネス的な課題を抱えていました。これら2つの課題をスポーツを通じて解決に導いていく。まさに「スポーツ×社会課題解決×ビジネス」という、これからの時代に期待される新たな取組です。

今後の展望

同社が次に取り組む「スポーツ×○○」は一体どのような取組になるのでしょうか。Tリーグの連覇も期待されますし、12月には今年完成したばかりの沖縄アリーナで世界最大規模の卓球イベントの開催も予定しています。

「琉球アスティーダ」というチーム名の由来はアス（明日）+ティーダ（沖縄の方言で太陽）を意味しています。その名前が示すように、これからの沖縄の未来を照らしてくれる同社の取組に今後も目が離せません。

【お問合せ先】

経済産業部 企画振興課

☎098-866-1727